

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会
第 32 回 (S1SC32) 議事録

日 時：2024 年 9 月 27 日(水) 10:30～12:00

場 所：オンライン会議にて開催

出席者：

委員：阿部主査(東大)、北島副主査(電中研)、黒崎幹事(京大)、大川委員(電通大)、牟田委員(阪大)、
大石委員(阪大)、天谷委員(JAEA)、河村委員(電中研)、本谷委員(東芝 ESS)、福田委員(MHI)、
草ヶ谷委員(GNF-J)、笹川委員(NFI)、鶴田委員(東電 HD)、勝部委員(原電)、

計 14 名 (欠席委員 1 名：鈴木委員(JANSI))

委員候補：田伏委員候補(関電)、安田委員候補(日立 GE)、計 2 名

常時参加者：根本、山下、逢坂(JAEA)、久保(NFI)、大脇(東芝 ESS)、金子(GNF-J)、佐藤(MHI)、
浦野(中部電)、今村(NEL)、北野(NRA)、宇多(関電)、中山(日立 GE)

計 12 名

オブザーバ：村上(MHI)、計 1 名

全 28 名出席 (オブザーバを除く。敬称略)

配付資料：

S1SC32-1 第 31 回分科会議事録(案)

S1SC32-2 人事

S1SC32-3 「原子力発電所における先行照射燃料の導入に係る実施基準」(本報告)に
対するシステム安全専門部会からのコメントと対応案

S1SC32-4-1 技術レポート「発電用軽水型原子炉の新設計燃料の安全性を確認する考
え方」の進捗について

S1SC32-4-2 ATF 技術レポートの進捗状況について

S1SC32-5 2024 年度倫理教育で寄せられたご意見(炉心燃料分科会)

1. 出席者確認

阿部主査によって出席者が確認された。委員出席者数は 13 名であり、分科会の定足数(委員
数 15 名の 2/3 以上)を満たすことが確認された。

2. 人事について

左右田委員(関電)、土屋委員(日立 GE)の退任が報告された。

田伏委員候補(関電)、安田委員候補(日立 GE)の分科会委員への就任について審議され、
承認された。11 月 5 日のシステム安全専門部会で承認を諮る予定。

常時参加者について、長嶺常時参加者(原電)、内川常時参加者(中電)の登録解除の報告がなされ、中西常時参加者(原電)、浦野常時参加者(中電)、宇多常時参加者(関電)、中山常時参加者(日立 GE)の登録が承認された。

3. 第 31 回分科会議事録(案)の確認(S1SC32-1)

阿部主査より、第 31 回議事録(案)が報告された。当該議事録は、分科会委員には事前送付されており、すでに確認されており、分科会終了時点で、(案)をとって確定した。

4. LUA 実施標準 システム安全専門部会コメントへの対応について(LUA 検討 WG) (S1SC32-3)

資料 S1SC31-3 に基づいて、北島副主査及び阿部主査より、LUA 標準の中間報告に対する標準委員会からの意見と対応の案について説明があった。

出席者から特に異論等の意見はなかった。

これを受けて、コメントへの対応案を反映した LUA 標準の改訂案については、システム安全専門部会及び標準委員会への報告に向けて、10 月末までに改訂案を完成させる予定で進めることとなった。

5. ATF 技術レポートの進捗状況について(LUA 検討 WG) (S1SC32-4-1 及び 4-2)

資料 S1SC32-4-1 及び 32-4-2 に基づいて、佐藤常時参加者(MHI)から、ATF 技術レポートの策定の状況について説明があった。ATF 技術レポートについては、本格的なレポートの改訂作業に入る前に、知見の整備の状況や開発段階に応じて優先すべき重点確認事項を明確にしながら開発を進めていく考え方をフローとして確立することを、最重要検討項目として進めている旨、説明がされた。この進め方を中心に、出席者に意見をお伺いしたが、特に異論はなく、了解された。

6. 2024 年度倫理教育で寄せられた意見の紹介と協議(S1SC32-5)

資料 S1SC32-5 に基づいて、炉心燃料分科会の委員を対象(他の分科会、システム安全専門部会等で受講済みの方を除く)とした今年度の倫理教育の履修状況(該当受講者 11 名全員受講)及び受講いただいた委員全員からいただいたご意見(アンケート結果)について、福田委員(MHI)から紹介と報告がされた。

同資料に基づき、天谷委員、田伏委員候補から、ご意見を具体的に紹介いただくとともに、特記事項として、再稼働プラントで忙殺されている現場に留意して、学協会活動が逆に消極的になりがちな状況に遭遇した、との意見も紹介された。この意見については、粘り強く学協会での活動の重要性を説きながら進めていくことが重要との意見がだされた。

7. その他

ISO/CD 18075 Steady-state neutronics methods for power reactor analysis の改訂版について、電気協会から原子力学会 炉心燃料分科会へのレビュー依頼があり、対応を行った旨、報告があった。またシステム安全専門部会からの依頼で、標準策定5か年計画の更新について来年 1 月中旬までに炉心燃料分科会として見直し及び新規1年分の策定の依頼があった旨、連絡された。

以 上